



黒松内ローランドアドベンチャーを満喫する参加者たち
2023年9月9日

B2

ニュースレター

2023/9/30

～10月の観光協会の主な事業～
秋のグルメフットパス

プレサミットアドベンチャーを終えて

アドベンチャートラベル・ワールドサミット (ATWS) 2023 北海道が 9 月 11 日に開幕、15 日盛況のうちに閉幕しました。世界各国からアドベンチャートラベル (AT) に特化した旅行会社、アクティビティ事業者、メディア関係者など約 750 名が札幌に集い、観光商談会やお試しツアーに参集しました。サミット開催前には北海道を PR すべく、4 泊 5 日前後のポストサミットアドベンチャー (PSA) が 15 コース、サミット初日には日帰り体験 (DOA) ツアーが 32 コース、更にはサミット後の PSA ツアーが道内外の数か所で実施されました。

当観光協会でも、9 月 8 日から 4 泊 5 日の行程で「洞爺湖有珠山ジオパーク&黒松内ローランド・アドベンチャー」の受け入れを行い、世界各国から参加した AT 会員 10 名を歓待し、当地の PR 活動や AT 受入における課題について情報共有をさせていただきました。

協会職員 3 名は、参加した ATWS 会員の皆様と直接お話をさせてもらい、皆様が求める観光が物見遊山型ではなく、それぞれの地域に踏み込んで、自然・アクティビティ・交流をしたいのだという思いや、自然環境に負荷を与えない旅行形態を好み、地域の自然環境への配慮や経済貢献への意識が高いことについても感じとることができました。参加者からは「シンプルな宿泊施設でいいので最低限の機能性やここならではのユニークさが必要だと思う」「食事の量は適量に」など課題抽出をしてもらいました。今後も黒松内らしい滞在交流型観光を磨き上げるべく、ATWS のコミュニティから更なる助言をいただき、課題解決に向け取り組んで参ります。

事務局長 本間 崇文



フットパスの輪 Vol.6

第 6 回は、黒松内フットパスクラブ会長・辻野健治さんに 10 月ニセコで行われる全道フットパスの集いについて寄稿いただきました。 ページ 2

じり通信 No.29 文：山本竜也

4 日連続で真夏日になるなど、記録的な暑さとなった 2023 年の夏の北海道。黒松内も暑い日が続きました。グラフでこの夏の黒松内の気温を見てみましょう。 ページ 3

黒松内文学さんぽ 第 2 歩

全 4 回のシリーズで黒松内ゆかりの文学作品や作家を町内在住の歴史研究者・北村英芳さんが紹介します。 ページ 3

【美一】Beech Girls vol.9

今回は地域活性化企業人として体育館に勤務する山本二葉さんのご紹介です。スポーツの秋！皆で二葉さんに会いに体育館へ GO！ ページ 4

<<協会主催・協カイベント>>

秋のグルメフットパス

10月22日(日)

今年も秋のグルメフットパスの時期がやってきました。今回は添別ブナ林を歩く予定です。申し込み締切りは 10 月 18 日ですので、参加をご希望の方は黒松内フットパスクラブ事務局(観光協会)までお問い合わせください。

観光交流ネットワークミーティング

12月20日(水) (予定)

毎年冬期に 2 回開催している観光交流ネットワークミーティング。今年度第一回目のミーティングは、サイクリングのアクティビティをテーマにします。

好評！？猛暑！！ビーフ天国で初出店

7月29日(土)に「牛っと！！ビーフ天国黒松内マルシェ」が4年ぶりに規模を縮小しての開催となりました。今年度のビーフ天国では当協会が一般社団法人化され、初めて露天営業を行いました。

出店の目玉は何といっても観光協会が販売している黒松内サイダーです。さらには酔り道百桃直伝のビールとサイダー割りのカクテル、また、ビールや炭酸のカクテルにピッタリと考え、相澤精肉店の味付け若鶏を炭火で焼いて会場販売しました。

天候は快晴を通り越しての猛暑で、最高気温は33.4℃となり、今年の夏一番暑い一日となりました。14時の開始直後は暑さのせいもあり、売り上げは伸び悩んでいましたが、「黒松内音頭パレード」が終了した18時頃から日も傾き、暑さも弱まりはじめたという事も相まってお客さんが一斉に会場へ押し寄せてきました。用意した8kgの味付け若鶏はあっという間に完売、サイダーも計114本を売り上げ、ビーフ天国初出店としてはまずまずの成果となりました。次年度もぜひ出店を検討したいと思います。

(事務局・岡本)



フットパスの輪 vol.6

辻野 健治 (黒松内フットパスクラブ 会長)



5回にわたり続いたリレー通信も前号で終了し、今回は黒松内フットパスクラブで通信記事を書くこととなりました。今年度黒松内フットパスクラブの会長を務める辻野健治です。

まずは少し、私とフットパスのお話など、させていただければと思います。私は以前、全道を巡っていて、18年前に黒松内に辿り着きました。そしてここでフットパスに出会い、今に至っております。元々登山愛好家なので歩く事は苦にならず、町内各所を歩き回っております。

今現在は黒松内町境界線一周プロジェクトを進行中。そこで調べていくうち、文献の「中央分水嶺」に着目し、そこから始まった冬の中央分水嶺ウォークは毎回多くの参加者の方に楽しんでいただけているようで、大好評企画となりました。地理学や植物学にも詳しくなり、歩く文化系の路を進んでいます。

ここからは直近のフットパスイベントのご案内です。

10月14日(土)～15日(日)に全道フットパスの集いがニセコ町で行われます。2022年7月の恵庭大会以来の開催で、黒松内フットパスクラブの会員はじめ、全道のフットパス愛好家たちがニセコでの開催を楽しみにしていることと思います。

歩くだけでなく、尻別川カヌー下り、山岳エリアのゆったり登山やニセコ文学の路等、様々なプログラムが用意されています。今回私は初日(14日)の神仙沼のコースをご案内をさせていただく予定です。ニセコ山系には様々な道があり、それらをうまく組み合わせるとつながるのが面白い場所です。興味を持った方、ぜひイベントに参加して、フットパスの魅力に触れてみませんか？



全道フットパス大会のコースのひとつである神仙沼

じり通信 No.29 「暑かった夏」 文：山本竜也

今年の北海道は暑かった。机に向かってペンを走らせていると、汗ばむ手のためにノートが湿り気を帯びてくる。生まれ育った大阪では毎年のことだったが、北海道で同じことが起きて、驚いた。7月20日から9月1日まで44日連続で、道内のどこかで真夏日(日最高気温が30℃以上)となった。1994年の30日連続を大幅に更新する記録である。

黒松内も例年のない暑さで、平年なら3.4日の真夏日が今年は19日もあった。6月の平均気温は平年なら15.0℃だが、今年は17.0℃、7月の平均気温は平年なら19.1℃だが、今年は22.0℃。8月の平均気温は平年なら20.5℃だが、今年は24.6℃だった。グラフに平年の最高気温と最低気温、今年の最高気温と最低気温を並べている。黒松内では8月の最高気温は25℃程度で経過するはずなのに、32～33℃程度になる日が多かった。それどころか最低気温が23～24℃程度になる日もあった。熱帯夜(日最低気温が25℃以上)の一步手前だ。日最高気温の記録34.5℃を更新することはなかったが、第3位の記録となる33.7℃を7月29日に観測した。

どうして、こんなに暑かったのか。気象庁は、①南からの暖かい空気が流れ込みやすかった、②晴れた日が多かった、③オホーツク海高気圧の影響を受けにくかった、④北日本近海で顕著に海面水温が高かった、⑤全地球規模で気温が高かったことを要因に挙げている。地球温暖化により気候が確実に変わりつつあることを意識せざるをえない。



黒松内文学さんぽ ー第2歩ー 文・写真：北村 英芳

「後志、曇りのち雨」伊藤佳子著(北方文芸1978年1号発表)

数年前「後志の文化・人と業績」という本の中に、ある作家の紹介文を見た。『伊藤 佳子(いとう けいこ)昭和13年(1938年)樺太真岡生まれ。昭和45年日本農民文学会入会。昭和49年頃、黒松内町白井川地区に在住していた。主な作品に、「焼酎と赤い靴下(土とふるさとの文学全集11刊)」「後志、曇りのち雨(北海道文学全集21刊)」がある』とあった。すぐに、町の図書館に「後志、曇りのち雨」を取り寄せてもらった(※右の写真の本で情報館マナヴェール蔵)。

作品から分かることがあった。著者は昭和45年頃、夫と共に白井川に移住し農業の傍ら執筆をしている。この作品は移住3年目頃に書かれた物で「札幌から倶知安まで急行で2時間。そのあと各駅停車で1時間かかるS駅に着いたのは9時20分と少し変わった定時刻だった。駅前の農協店舗がライトに照らされ・・・」とS駅に伏せ変え書いているが、当時の熱帯駅及び駅前の情景と一致する。

この作品を読んで思い出した人がいる。作品の主人公と思しき方で、白井川角十地区に移住し農業を営んでいた伊藤剛さんだ。近所や町民の人たちから「絵描きの剛(ごう)さん」と、親しみを持って呼ばれていたことが記憶に残る。



【美一】 Beech Girls vol.9 地域活性化企業人として体育館で勤務する山本二葉さん取材しました。

Q 子どもの頃はどんな子どもでしたか？

A ひたすら活発！女子より男子と一緒に公園で野球をしたり、ヘビを捕まえたり、とにかくヤンチャでした。あとは木登り、虫取り、秘密基地作りとかもしました。男子ともよくケンカしていました。

Q 黒松内のおすすめスポットを教えてください。

A やっぱり体育館！就業後も体育館にいることもあるし、週5でバレーボールをしています。大きな町の体育館と違って無料で自由に使えるので恵まれていると思います。

Q 旅行で行ってみたいところを教えてください。

A 沖縄！まだ行ったことがありません。夏が好きなので夏を一番感じられそうな場所なので。スキューバダイビングやエイサーを体験してみたい。

Q 出身地（札幌市南区）のおすすめの場所を教えてください。

A 行きつけのラーメン屋さん、南区藤野にある「びざん」。みそラーメンがすごく好きです。あとは定山溪ですかね。中学生の時、自転車で定山溪まで行って足湯に入ったりしていました。遠かったんですけど。

Q 黒松内に住んでみて感じたことは？

A 札幌にいたときより充実しています！仲の良い友人も出来たし、大好きなスポーツが毎日出来る！あと、色々なものをいただけます。でも買い物はちょっと不便…。

とってもエネルギー山本さん。去年の7月からは外部指導員として黒松内中学校バレーボール部の指導もしているそうです。スポーツの秋、ぜひ体育館に山本さんに会いにいってみたいはいかがでしょうか？（事務局・澤田）



山本 二葉（やまもと ふたば）さん
1月24日生まれ/26歳/A型
札幌市南区出身
家族構成は父、母、長兄、姉、次兄、妹、弟の6人兄弟の8人家族

黒松内産そば応援スタンプラリー 開催中！

7月29日からスタートした黒松内産そば応援スタンプラリー。応募締め切りは11月6日消印有効です。開催期間も折り返し地点を過ぎましたが、皆様スタンプは順調に集まっておりますでしょうか？スタンプ3つから応募が可能ですので、まだまだ締め切りに間に合います！スタンプラリー用紙は対象店舗にて配布しておりますので奮ってご参加ください。

対象店舗一覧

- そば屋この花
- ラーメン松龍
- トワ・ヴェール
- そば処ぶなの森
- 軽食喫茶黒ひげ
- レストランキリカ
- 黒松内そば打ちサークル
- ブナ自然学舎ビーチカフェ
- やき鳥新ちゃん



※写真はスタンプ対象メニューの一部です。写真以外のメニューでもスタンプをもらえます。詳しくは各店舗へおたずねください。

観光協会 HP にて「B2」バックナンバーがご覧になれます。www.bunatatourism.com

印刷版をご希望の方は観光協会までご連絡下さい。

発行人：一社) 黒松内町観光協会 発行日：2023年9月30日 次回発行予定は12月末

TEL：0136-72-3597 FAX:0136-75-7070 MAIL：bunatatourism@gmail.com